

樟彩

～ 岩田学園だより 2023年1月号 ～



3学期始業式の式辞より

校長 児玉 洋司

校長メッセージ	1
共通テスト壮行式・当日朝	2
部活動等結果	23
OB・OG戦	4
2023年度岩田中高入試	4
寄付金募集	5
岩田公式SNS	6



おはようございます。今年もみんなと一緒に日々前へ前へと進んでいきましょう。言うまでもなく、時が過ぎるのは早いものです。高校や大学を卒業するのもあつという間で、気づけば社会へと羽ばたいているのです。どうか、今の取り組みで、人生が確実に変わることを真剣に、そして前向きに考えて行動しましょう。

今日は、高校卒業後のイメージとして、岩田の同窓会(樟友会)についてお話します。岩田学園の卒業生は、毎年12月30日、大道にあるレンブラントホテルに集結します。現高校3年生は今年、高校2年生は来年から参加することができます。同級生や先輩、後輩と食事をしながら語り合うのはとても楽しく充実した機会となります。

30年ぐらい前の参加者は20人ぐらいでしたが、最近は300名を超える規模となりました。大晦日の前日に、これだけの卒業生が集う学校は全国でも少ないでしょう。なぜ、これほどの卒業生や教職員が参加するかは、言わずもがな『岩田の絆』の強さがその理由でしょう。この強い絆は、日々の学校生活を送る中で自然と生まれ、卒業はより強く固くなっていきます。現在は、1回生から34回生までの卒業生が大きな力となって皆さんを応援してくれています。

昨年末の同窓会で、私は次のメッセージを卒業生へ伝えました。

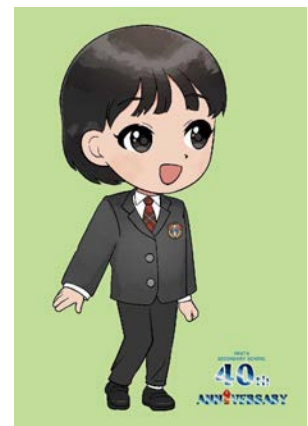
『卒業生が築いてきた岩田学園を、“今までも岩田、今も岩田、そしてこれからも岩田”という熱い思いで、生徒、保護者、職員、卒業生がワンチームになって盛り上

がるように頑張ります。』

さあ、2023年3学期がスタートしました。輝ける未来に向かって、「さあ、これからだ」と元気を出して進んでいきましょう。“Your efforts now are a gift to your future self.”今の努力は未来への贈りものです。不安があるから人は成長するのです。ベストを尽くして自分の頑張りが結果に出ることを知ったとき、何とも言えない幸福感が体の中から湧き上がってきます。

(ご家族の皆さまへ)

私たちは、古き良き岩田らしさが涵養していくような学校づくりに向かって突き進む所存です。そして、岩田英二先生の魂、そして同窓生の志を胸に刻み、職員一丸となって学園発展のため一層努力してまいります。どうぞ、今後ともご家庭と学校が、お父さまが未来に進むための両輪となりますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。





共通テスト壮行式等

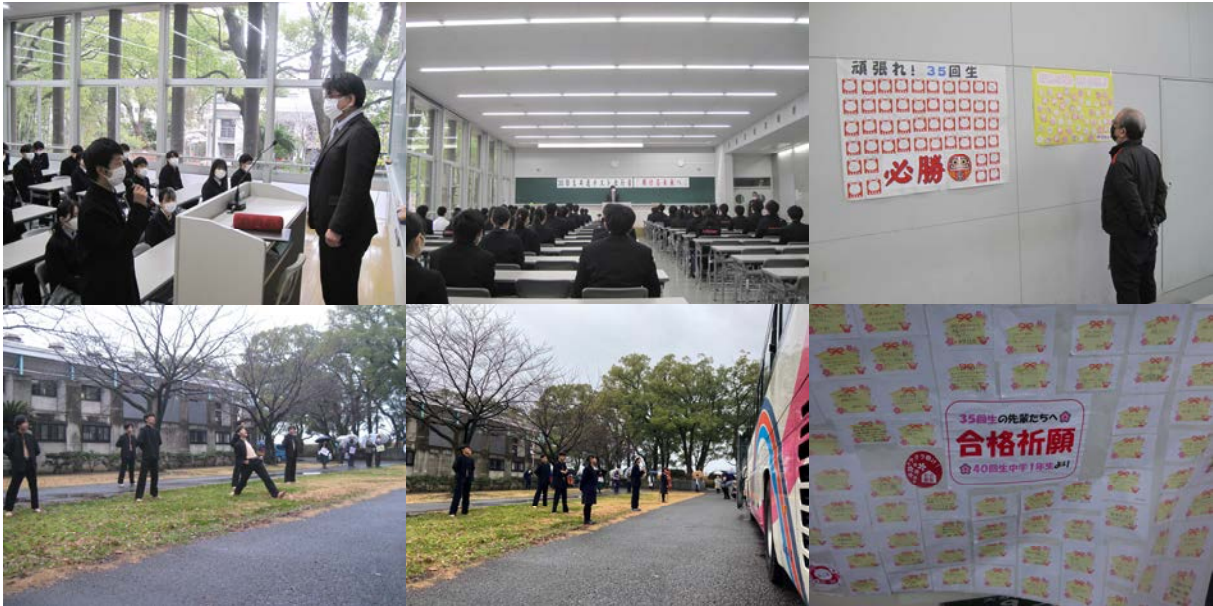
進路担当 山月 秀夫

<共通テスト壮行式>

1月13日(金)、翌日より行われる大学入学共通テストの壮行式が大講義室で行われました。児玉校長より自身の経験を踏まえた高校3年生への熱い言葉が送られ、その後、生徒を代表して西田凌さんが力強く決意を述べました。後藤進路指導主任より注意事項等の確認とともに、野田学年主任から全員に励ましの言葉がありました。卒業生からの激励品も届き、生徒に配られました。

<共通テスト当日朝>

共通テスト当日(1/14)朝、恒例の出発式が盛大に行われました。在校生応援団の演舞、生徒会による応援歌、生徒会長から気持ちのこもった応援メッセージ等、生徒・保護者・職員全員で35回生を見送りました。



12月の部活動等結果報告

囲碁棋部

12月24日(土)

令和4年度大分県高等学校文化連盟将棋専門部冬季錬成大会および段級位認定大会

A級(二段・初段認定大会)

新人大会上位者19名中15名によるスイス式トーナメント

上杉凌大 ×○○○ 初段認定

今村拓貴 ○○××

中文連主催 第2回大分県中学生将棋新人戦

1月8日(日) コンパルホール 302会議室

C級 13名によるスイス式トーナメント

2-1綿田陸飛 ○××○×

1-1阿南充紀 ○○○○ 1位

1-2上杉咲希 ○×○××

1-2衛藤優花 ×○×○○

12月のグランドチャンピオン大会で経験を積んだ阿南君が見事1位になりました。他の生徒も根気強く対局していました。次回は6月の大会です。それに向けて力を磨いて行きたいと思います。(顧問: 姫野 真次)

卓球部

12/25(日)~12/26(月) 令和4年度 全九州卓球選手権大会県予選会(中学生の部)@サイクルショップコダマ大洲アリーナ

<団体戦>

予選リーグ3位

1試合目 岩田 2 - 3 志成学園

1S 田邊 3 - 1

2S 藤澤 3 - 0

3D 矢野&藤谷 1 - 3

4S 安部諒 1 - 3

5S 武藤 0 - 3

2試合目 岩田 1 - 3 植田

1S 田邊 0 - 3

2S 安部諒 3 - 2

3D 矢野&藤谷 1 - 3

4S 藤澤 0 - 3

全九州卓球選手権大会の県予選会ということで、大分県全体から強豪たちが集っておりました。相手は2年生のみで構成されるチームで、1年生が主体の本校は、格上との試合でした。試合の結果としては、決勝トーナメントに入り込むことが出来ませんでした。タダでは負けない気持ちで少なくとも1ゲームは勝ち取ることが出来ました。今回の試合に出場出来なかった者もこの1年でかなり成長したと思います。来年度の公式戦での勝利を目標に、年始からの練習に取り組んで貰いたいと思います。



学園だより

12月の部活動等結果報告 つづき

<個人戦>

田邊	1回戦敗退(0-3)
安部諒	1回戦敗退(2-3)
藤澤	1回戦敗退(1-3)
矢野	2回戦敗退(1-3)
武藤	1回戦敗退(0-3)
藤谷	1回戦敗退(0-3)

過去最大規模の大会のためか、緊張して生徒たちは普段通りの動きが出来ていなかったように思います。試合で普段通りのパフォーマンスが発揮出来るためには、メンタル面のトレーニングも必要になってきます。少し苦しい位の状況下でのトレーニングを実施しましょう。また、技術の向上も課題です。本校には限られた少ない練習時間しかありませんが、効率良く各人に必要な練習を自分自身で考えさせながら行っていきます。保護者の皆様におかれましては、休日・早朝の送迎等のサポートいつもありがとうございます。今後ともよろしくをお願いします。(顧問：草本 舜輔)

バスケットボール部(高校女子)

令和4年度大分県高等学校新人バスケットボール大会 1/8(日)

1回戦 岩田 17-121 中津東
ハーフからプレッシャーをかけられて、ボールを奪われる場面が多く、序盤から点数が離されました。一時はいつもの元気すらもなくなりましたが、後半からキャプテンを中心に気持ちを入れ直し、最後まで全員で戦い抜きました。冬休みに練習してきたことやサインプレーがうまくいった場面もありました。保護者の方の普段からのあたたかいサポートに感謝いたします。寒い中、送迎や応援をありがとうございました。
高校2年生4人は、今回の試合をもって引退となります。練習中も普段も明るく、ここまで部を引っ張ってくれました。厳しい試合が多く、悔しい思いが多かったと思いますが、日々努力を続け、プレーはもちろん、人としても成長した姿を見ることができました。バスケットボールでの経験を生かして、今後は到達度試験・大学受験に向けて頑張ってください。(顧問：酒見 真由)

バスケットボール部(高校男子)

令和4年度大分県高等学校新人バスケットボール大会 1/8(日)

1回戦 岩田 48-69 大分高専

冬休み中の練習もメンバーがなかなか揃わない中で挑んだ1戦でした。しかし序盤からしっかり点数を取ることができ、また粘り強くディフェンスができたことで、一時3点差にまで近づくことができました。しかし後半で体力面で相手に圧倒されてしまいました。少数精鋭で挑んだ試合でしたが、生徒は最後までよく頑張ったと思います。次の南九州4県の大会が現高2にとって最後の試合となります。悔いの残らない試合にするためにも、しっかり準備をして挑みたいと思います。保護者の方の普段からのあたたかいサポートに感謝いたします。寒い中、送迎や応援をありがとうございました。(顧問：牧野 佳太)

バスケットボール部(中学男子)

令和4年度全九州中学生バスケットボール春季選手権大会大分県予選大会 1/22(日)

1回戦 岩田 46-61 別府中部
試合前の準備不足から始まり、試合の立ち上がりは自分たちの思うようなプレーができず、またミスの連発で序盤に2桁差をつけられました。しかしディフェンスから立て直し、2Qでは一時1桁差まで持ち込みました。最後まで逆転することはできませんでしたが、生徒たちは最後まで一生懸命戦い抜きました。保護者の方々の普段からのあたたかいサポートに感謝いたします。寒い中、送迎や応援をありがとうございました。(顧問：牧野 佳太)

バスケットボール部(中学女子)

令和4年度全九州中学生バスケットボール春季選手権大会大分県予選大会 1/21(土)

1回戦 岩田 16-85 東陽
点数は差がついてしまいましたが、一人ひとりのプレーに成長が感じられました。共通認識をもってサインプレーをできたり、レイアップやスリーポイントシュートを決めたり、良いプレーがたくさんありました。シュートが決まると、全員で声を掛け合って喜んでいました。中学女子は普段から練習の参加率が良く、冬休みにもこつこつ頑張ってきたことが、少しずつですが試合でも現れてきています。チームとしてさらに協力して攻めたり守ったりができるように、これからも頑張らせたいと思います。保護者の皆様の、普段からのあたたかいサポートに感謝いたします。試合当日は送迎や応援、差し入れまでありがとうございました。(顧問：酒見 真由)

中学サッカー部

大分県中学選手権大会 1月14日
岩田 0-1 東中津中学校

日々の練習や練習試合での成長が感じられる試合をすることができました。前半相手にゲームを支配される中で失点しましたが、全員で集中して追加点を許しませんでした。後半には押し込む時間を増やして決定的なチャンスも作り出しましたが、最後の局面で精度や積極性を欠き得点することはできませんでした。この敗戦で少しづつではありますが、チームの雰囲気や取り組み方も変わってきているので、6月の市総体に向けてさらに練習をがんばっていきます。対戦してくださった東中津中学校の皆さまや大会関係者の皆さま、保護者の皆さま本当にありがとうございました。(顧問：増田 愨)

小論文

第24回高校生小論文コンクール

(主催：生涯学習振興財団)

個人部門

奨励賞 漆間 虎弥太(高2)

おおいだ学生

ビジネスプランコンテスト

最優秀賞 猪原 美羽(高3)

https://oita-miraibuild.jp/businessplancontest_re2/



OB・OG戦がありました ～テニス部・バスケットボール部・サッカー部・野球部～

〈テニス部 OB・OG戦〉 12/27(火)

快晴のもと、陰性証明や接種証明を確認したうえで久々にコートで集まることができ、22・23・27・29・32・33・34回生の11名が参加してくれました。一緒に参加した高1・高2部員も楽しそうにテニスをする事ができ、進路や学習面でのアドバイスをもらっていた生徒もいて、貴重な機会となりました。(顧問：川元 威彦)

〈バスケ部 OB・OG戦〉 12/28(水)

16回生から34回生までのOB・OG11名が参加してくれました。最初は混合チームでたくさん試合をし、最後は、現役vs OB・OGの真剣勝負。男子はOBが勝利、女子は現役が勝利しました。2022年もOB・OGの皆さんにたくさんサポートを頂きました。ありがとうございました。(顧問：酒見 真由)

〈サッカー部 OB・OG戦〉 1月3日 (月)

OB・OG合わせて20名程度が集まり、男女に分かれて現役生と白熱

した戦いを繰り返して広げていました。プレーだけでなく進路などの面でもアドバイスを受ける生徒もおり、とてもいい経験になりました。

(顧問：増田 惣)

〈野球部 OB戦〉

12/29に野球部のOB戦を行いました。参加者はOBが6, 26, 30, 31, 33, 34回生、現役部員が8名の総勢24名となりました。1試合目にOBチーム対現役チーム。2試合目にOBと現役部員の混合チームで試合を行いました。試合の途中には、16回生の橋本さんがOB代表として花束を持ってきてくれるサプライズもありました。終始、笑顔と感動の中で素敵な時間を過ごしました。36年前に発足した岩田学園の野球部ですが、部としての活動は終了しましたが、これからもOB戦の活動は続けていく予定です。(顧問：伊東 英陽)



テニス部



バスケットボール部



サッカー部



野球部

2023年度岩田中学校・高等学校入試について

事務局長 末松 茂

令和5年度岩田中学校入学試験は、例年と同じ1月4日(水)に実施されました。受付で検温・手指消毒を行い、試験中もマスク着用で臨むことになりました。コロナ禍も4年目となり、日常的に取り組んでいるため、混乱もなく無事終了することができました。

1月6日(水)の合格発表は、Web出願システムの導入に伴い、受験生が各自でオンラインにて合否の確認を行いました。今年度より学園内での合格者掲示をとりやめたので、受験者の来校も無く、静かな発表日となりました。

岩田中学校入学試験志願者数は245名で、大分県内からの出願者が240名、大分県外からの出願者が5名でした。昨年度より若干(△8名)の減少となりました。

合格者数は、213名でした。合格者の平均点は、右の表のとおりです。一昨年度より出題傾向を変更し、大学共通テストを意識して、知識だけではなく、思考力や判断力、表現力等も測ることを念頭に出題しておりますが、今年度はコロナウィルスの影響に配慮し、やや易化しました。

結果として、合格者平均点は前年度比で16.8点上がり203.9点(300点満点)となりました。各教科別に見ると、国語△0.6点、算数+11.7点、理科+0.1点、社会+5.6点と国語以外の教科は上がりました。合格者最低点は、昨年度の129点から9点上がって138点となりました。

岩田高等学校APU・立命館コースの入学試験は昨年11月4日の帰国子女入試からスタートしており、既にニューデリー及びバンコク日本人学校、イギリス現地校等からの帰国子女生5名の合格が決まっています。新型コロナウイルスの影響でここ数年は実施できておりませんが、8年前から海外子女教育振興財団主催のアジア地区日本人学校説明会ツアーに参加してきたため、一定数の帰国子女の入学者を迎えることができるようになりました。

1月17日(火)には、推薦入試を実施しました。高校の出題スタイルは、発音や単語並び替えなど基礎的な設問の他に、読解力や表現力を求めるようにしています。英語で書かれた算数・数学の問題を解くという設問もありました。合格者は17名となりました。

高校入試は今後2月2日(木)の一般・前期入試、3月20日(月)の一般・後期入試を実施します。

APU・立命館コースの入学者は30名程度を予測し、帰国子女や海外からの留学生の受け入れを含め国際感覚を磨くに相応しいクラスとなります。帰国子女や留学生が集まってくるとは、コースの魅力と共に生徒寮の存在も大きいと思われます。

寮生活では、生活習慣のみならず学習習慣も身につけ、自立に非常に有効と言われております。

生徒寮では、随時入寮受付を行っております。通学生の皆さん、寮生活を体験してみてもいかがでしょうか。

【令和5年度 中学入試結果】

◎志願者数・合格者数

志願者数	245名
合格者数	213名

◎一般入試 合格者教科別平均点

国語	68.7点
算数	64.8点
理科	38.5点
社会	31.9点
合計	203.9点

合格者最低点	138点
--------	------



寄付金募集について

学校法人 岩田学園

日頃より本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。本校では、生徒の教育環境整備を目的とした寄付金を随時募集いたしております。ご理解とご協力をいただけますよう、お願いいたします。

学校法人岩田学園 寄付金募集要項

1. 寄付金の募集目的及び用途

- ◇目的 学校の教育研究用施設設備の拡充並びに教育研究の維持向上を図るため。
- ◇用途 (1) 教育研究用の施設設備の整備及び取得費に使用します。
(2) 教育研究に要する経常経費に使用します。

2. 寄付金募集について

- ◇募集目標額 年間700万円
- ◇募集区域 特に定めず全国からとします。
- ◇募集対象 在校生の保護者、卒業生、本校教職員及び学園の趣旨にご賛同いただける方
ただし、学校の入学に関する寄付金は除きます。
- ◇募集開始 平成22年 2月 1日より随時受け入れしています。
- ◇寄付金額 一口1万円 可能であれば複数口をお願いします。

3. 応募・納入方法

- ◇応募方法 別紙「学校法人岩田学園 寄付申込書」にご記入いただき、事務室へご提出ください。
- ◇納入方法 ①寄付金専用の「郵便払込用紙」又は「銀行振込用紙」にて振り込み
②学校事務室へ寄付申込書を添えて現金にて納入

4. 寄付金に対する税法上の取り扱いについて

学校法人岩田学園は国の定める「特定公益増進法人」であり、当学園に対する寄付金については、個人の場合、確定申告をすることにより所得税の一定の控除が受けられます。

◇寄付金にかかる控除額（「税額控除制度」を利用した場合）

寄付金額の40%に相当する額が所得税額から控除されます。

■控除額の計算：(その年に支出した寄付金額 - 2千円) × 40% = 所得税控除額

※控除対象となる寄付金額は、その年の総所得金額等の40%が上限となります。

5. 寄付金についての問い合わせ先

学校法人岩田学園 事務室 ☎097-558-3007



◆岩田公式SNS “岩田Historia”

今回はNo.48～51, 現在“岩田Historia60”まで公開中

★岩田Historia48

“立川先生がおっしゃった御言葉パートII「やる事をやり上げた自信」をつけてほしい。逃げる事はいつでも、誰でも出来る。踏ん張ってやり遂げる。それを楽しめたらBest!限界を決めず、予想外の自分を作ろう” (高3学級日誌)Historia★

写真：13回生のアルバムより



★岩田Historia49

“...and you guys have outgrown your school. ...、そして君らはこの学校から「脱皮する」ー”。「...」には君たち一人一人の6年間の思い出が、言い尽くせない思いがぎっしり詰まっている。(学年主任 浦尾先生)Historia★

写真：14回生のアルバムより



★岩田Historia50

人生『一陽来福』だ。脱力感や絶望感に落ち込む時もあるが、どんなに雨が降っても必ず陽は差し込んでくる。さあ、眼を輝かせて頑張っていこう。『生きる喜び』をいっぱい感じて生きていこう。お前ならできる。(担任 児玉先生)Historia★

写真：14回生のアルバムより



★岩田Historia51

先々の光明も見えにくい中で君たちは巣立って、新たな道を切り開いて行くことになる。希望に満ち、可能性を信じて船出する君たちに月並みではあるが、Slow and steady wins the race. という言葉を贈りたい。(学年主任 板倉先生)Historia★

写真：15回生のアルバムより



<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck!

能力の差は小さいが
努力の差は大きい

脚力尽くる時、山更に好し。
脚ける未来へ、全力でサポートします!



大分市岩田町1-1-1
学校法人岩田学園
電話 097(558)3007
Fax 097(556)8937
Email iwata@iwata.ed.jp

21世紀の有為な人材を育成する
岩田中学校・高等学校